

財団法人

女性のためのアジア平和国民基金

Asian Women's Fund

アジア女性基金がめざすもの

戦後半世紀以上がたち、私たちは平和と繁栄そして社会的安定を手にしてきました。しかし、先の戦争において、「慰安婦」として心身にわたり、癒しがたい傷を負われた女性たちの苦しみと悲しみを忘れることはできません。

また、世界各国で起きている武力紛争下における女性に対する暴力をはじめ、職場や地域社会での性的嫌がらせ、家族や親密な関係における暴力や虐待など、いまだに数多くの女性が、いわれなき暴力や非人道的な扱いに苦しめられています。

アジア女性基金は、元「慰安婦」の方々への償いをするのと同時に、その深い反省のうえにたって、二度とこのような問題を起こすことのないように、現代の女性問題への取り組みを行っています。そのため、国内外に女性の名誉と尊厳を守ることの重要性を啓発し、女性の尊厳を侵害する行為を防止し、女性に対する暴力のない国際社会を築くための事業を行っています。

アジア女性基金は、これらの諸事業を通じて、平和で自由かつ人権の尊重される社会の構築と、アジア近隣諸国等と我が国との友好に寄与したいと願っています。

What are the Aims and objectives of the Asian Women's Fund?

Now, more than half a century has passed since the war, and we have achieved peace, prosperity, and social stability. However, we must never forget the pain and grief of the women who suffered physically and psychologically as “Comfort Women”.

And it is also true that, today, many women are tormented by unreasonable violence and inhumane treatment, such as violence toward women under armed conflicts throughout the world, sexual abuses in work places and in communities, and domestic violence and child abuse in personal relationships, including those within families.

We try to extend atonement and support to those who suffered as the former “Comfort Women” as well as to address contemporary issues concerning women's human rights and women's dignity. Because, the Asian Women's Fund (AWF) is convinced that the violence against women and violation of women's human rights, whether they are committed in the past or present, should not be forgotten, so that the history of “Comfort Women” shall never be repeated.

The AWF aims to contribute to build a society in which peace, freedom and human rights are protected, and to realize friendship between Japan and other Asian countries and nations in the world, through such activities.

設立の趣旨

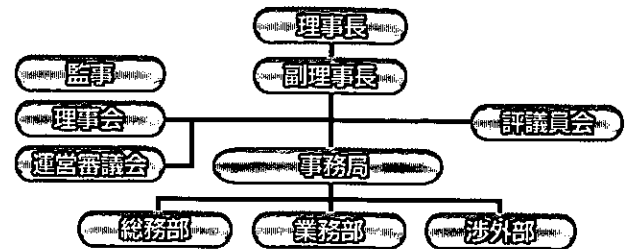
女性のためのアジア平和国民基金（アジア女性基金）は、元「慰安婦」の方々への国民的な償いを行うことと、女性の名誉と尊厳に関わる今日的な問題の解決に取り組むことを趣旨に、1995年7月に発足し、同年12月8日に財団法人として設立許可されました。

アジア女性基金は、さまざまな事業を通じて、国内外に女性の名誉と尊厳を守ることの重要性を啓発するとともに、女性の名誉と尊厳を侵害する行為を防止し、女性に対する暴力のない国際社会を築くための事業に取り組みます。

組織・運営

財団法人として運営しているアジア女性基金は、意思決定機関として、有識者をはじめ各界の関係者からなる理事会を構成しています。

また、運営審議会を設置し、理事長の諮問に応じ、基金の行う事業に関する重要事項について、審議・助言をいただいています。



設立の経緯

日本で、いわゆる従軍慰安婦問題が実際に社会的に問題として浮上したのは1990年、日本の国会審議がきっかけでした。政府側の答弁が軍と国家の関与を否定したため、韓国で強い批判が起こり、一人の元「慰安婦」が名乗り出て、日本の責任を告発しました。

これに加えて軍の関与を証明する資料が明らかになり、政府は本格的な調査に乗り出しました。1992年7月6日、政府は第一次調査結果を発表し、1993年8月4日には第二次調査結果を発表しました。第二次調査結果についての発表の際、河野洋平内閣官房長官が合わせて談話も発表しました。そのなかで、「本件は、当時の軍の関与の下に、多数の女性の名誉と尊厳を深く傷つけた問題である。政府はこの機会に、改めてその出身地のいかに問わず、いわゆる従軍慰安婦として数多の苦痛を経験され、心身にわたり癒しがたい傷を負われたすべてのの方々に対し心からお詫びと反省の気持ちを申し上げる」との認識を示しました。

1994年8月31日、村山富市内閣総理大臣は戦後50年に向けた談話のなかで、従軍慰安婦問題についてあらためて「心からの反省とお詫びの気持ち」を表明し、この気持ちを国民に分ち合ってもらうために「幅広い国民参加の道」を探求することを明らかにしました。これを受けて与党三党（自民党、社会党、新党さきがけ）は戦後50年問題プロジェクトを発足させ、従軍慰安婦問題等小委員会を設置して検討し、94年12月7日、第一次報告を取りまとめました。

この「報告」の内容は、従軍慰安婦問題について「我が国としては、道義的立場から、その責任を果たさなければならない」として、「これら元『慰安婦』の人たちに対してお詫びと反省の気持ちから国民的償いを表わす」ことを表明するものでした。具体的には、国民参加の「基金」を設置し、元「慰安婦」を対象に償い事業を行うとともに、女性の名誉と尊厳に関わる問題の解決に向けた活動を支援する、そのため政府がこの基金に対して拠出を含め可能なかぎり協力を行うことを政府に申し入れるものでした。

政府はこの「小委員会報告」を受けて1995年度予算に基金への補助金を計上し、1995年6月14日、五十嵐広三内閣官房長官は「女性のためのアジア平和友好基金」（仮称）の設立、政府の取り組み、そして基金の設立を呼びかける「呼びかけ人」を発表しました。7月18日、呼びかけ人による「呼びかけ文」と総理の「ごあいさつ」が発表され、翌19日に理事会が開かれ正式に「女性のためのアジア平和国民基金」（略称・アジア女性基金）が発足、7月末には理事長に原文兵衛前参議院議長が就任しました。2000年9月1日には村山富市元内閣総理大臣が理事長に就任しました。

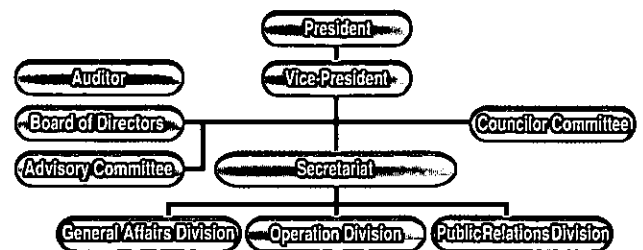
Purpose of Establishment

Asian Peace and People's Fund for Women (Asian Women's Fund) was inaugurated in July 1995, in order to make atonement from the Japanese people to the former "Comfort Women". The AWF is also to deal today's problems regarding women's honor and dignity. The AWF was authorized as a non-profit foundation on December 8 of the same year.

Incorporated Organization/Operation

As an incorporated foundation, the AWF has a Board of Directors as its decision-making organ, consisting of people from various fields, including learned men and women.

Also, an Advisory Committee has been established. It will deliberate and give advice on important matters in the Fund's activities, in response to requests from the President.



How AWF was Established in 1995?

In 1990, the issue of "Wartime Comfort Women" first began to attract public attention, triggered by a deliberation in Japanese Diet. Strong criticism was raised in Korea, because the Japanese Government had denied involvement of the Japanese military and its soldiers. Then, one former "Comfort Woman", in Korea come out in public, to claim Japan's responsibility.

Following the discovery of materials which proved the involvement of the Japanese military, the Japanese Government launched a full investigation into the matter. On July 6, 1992, the Government announced the First Study Results, and the Second Study Results were announced on August 4, 1993. On announcing the Second Study Results, Mr. Yohei Kono, the Chief Cabinet Secretary, also made a statement, in which he acknowledged the following: "This matter is an issue, and through involvement of our military at that time, we caused deep injury to many women's honor and dignity. The Government, on this occasion would like to convey our feeling of apology and remorse to all people, regardless of nationality, who suffered much pain and agony as so-called "Wartime Comfort Women" and who endured everlasting injury to mind and body."

On August 31, 1994, Tomiichi Murayama, the Prime Minister, extended his most sincere apologies and remorse to all women who underwent immeasurable and painful experiences and suffered incurable physical and psychological wounds as "Comfort Women" in his statement about the 50th anniversary of the end of the war. And he also stated his intention to search for a way to obtain broad national participation, so that ail the people of Japan could share such feeling. Following that, the three ruling parties (the LDP, the Social Democrats, and the New Party Sakigake) jointly inaugurated, the "The Issue of 50 Years After the War Project," and established a "Subcommittee such issues as "Wartime Comfort Women", Issue and Others." After consideration, they prepared their First Report on December 7, 1994.

The report said that "Japan must take its responsibility from the moral viewpoint," and it was also announced, in the report, that "Japan will express atonement from the people of Japan, based on our feeling of remorse and apology." To be more specific, it was announced that Japan would establish a citizen's fund and carry out atonement activity for the former "Comfort Women," while at the same time supporting any activities that aim to solve problems concerning the honor and dignity of women. And in order to achieve these, the Subcommittee asked the Government to support the Fund, as much as possible, in various forms including contribution of funds.

Following the Subcommittee's report, the Government appropriated a subsidy to the Fund, in the budget of fiscal 1995. And on June 14, Mr. Kozo Igarashi, the Chief Cabinet Secretary, announced the establishment of the "Asian Peace and Friendship Fund for Women" (provisional name), the Government's role, and the names of the Fund's advocates. On July 18, Advocates' addresses and a letter from the Prime Minister were announced. On the following day, a Board of Directors meeting was held, and the "Asian Peace and People's Fund for Women" (abbreviation: Asian Women's Fund) was officially started. At the end of July, Mr. Bunbei Hara, a former president of the House of Councilors, assumed the office of president of the Fund. In September 2000, former Prime Minister Tomiichi Murayama became president of the Fund.

アジア女性基金の償い事業に協力してくださったみなさまへ

財団法人女性のためのアジア平和国民基金(略称、アジア女性基金)は、発足以来7年になります。

このたび、フィリピン、韓国、台湾における償い事業の実施が終了いたしました。「慰安婦」とされた方々にお届けする「償い金」のための募金に協力いただいたみなさまに感謝し、厚く御礼申し上げます。

「慰安婦」は、先の大戦の時期に、当時、旧日本軍の関与のもとに設置された慰安所で将兵に対し性的行為を強いられた女性たちです。慰安所において、多くの女性が名誉と尊厳を深く傷つけられ、心身にわたる癒しがたい傷を負われました。

1993年8月4日、内閣官房長官談話によって日本政府がお詫びと反省を表明して以来、政府と国民は償いを行う道を模索してまいりました。

1995年7月19日、道義的な責任を痛感した政府の決定により、政府と国民が協力して国民的な償い事業等を行う「女性のためのアジア平和国民基金」が発足いたしました。

アジア女性基金は政府の決定を得て、国民的な償い事業の内容を、国民の募金を原資とする「償い金」と政府拠出金を原資とする医療・福祉支援を、総理大臣のお詫びの手紙とともに、元「慰安婦」一人ひとりにお届けすることと定め、国民のみなさまに対して募金活動の呼びかけを開始しました。そして、96年8月13日よりフィリピンにおいて、97年1月11日より韓国において、また同年5月2日より台湾において、国民的な償い事業を開始しました。事業期間は、高齢になられた方々に対し、一刻も早く事業を実施したいとの強い思いから、5年間と定め、2001年8月にはフィリピン、2002年5月には、韓国、台湾で申請の受付を終了し、このたびこれらの国・地域における償い事業の実施を終えました。

これらの国・地域で285人の方々に償い事業をお届けいたしました。償い事業を受け取られた方々からは、「このような総理のお詫びやお金が出るとは思いませんでした。日本のみなさまの気持ちであることもよくわかりました」など多くの声が寄せられています。

発足時より今日まで国民のみなさまからいただいた募金の総額は、5億6,500万円余に達し、これは全額フィリピン、韓国、台湾の元「慰安婦」の方々のもとへお届けいたしました。ここに国民のみなさまに対して、心より感謝を申し上げます。このように、政府と国民が協力して、これらの国・地域で国民的な償いの事業を実施できたこと、そしてアジア女性基金が事業を担うことができたことを嬉しく思います。

しかし、これらの国・地域では、アジア女性基金の償い事業に対して、日本政府が法的責任を認めて国家による個人補償をすべきだとする立場から、この償い事業を批判する元「慰安婦」の方々や支援団体もおられます。アジア女性基金としては、これらの方々の理解を得るため真摯に対話の努力を試みました。

なお、オランダの元「慰安婦」の方々に対しては、98年から2001年にかけて、政府拠出金を原資とする医療・福祉支援事業をおこない、オランダ事業実施委員会を通じて79人の方々にお届けいたしました。その際、一人ひとりの元「慰安婦」にコック首相あての橋本総理大臣のお詫びの手紙の写しが添えられました。また、インドネシアにおいては、アジア女性基金がインドネシア政府との覚書に基づき、97年3月から10年間を目処に、同政府が実施する高齢者社会福祉推進事業を支援することになり、現在実施中です。

アジア女性基金は、償いの事業を進めることと併行して、女性をめぐる今日的な問題の解決のための事業を推進してきました。それは、「慰安婦」という忌むべき制度を生み出した過去の日本に対する厳しい反省に基づくものです。また、「慰安婦」問題を歴史の教訓として、この問題の認識の発展に努めてまいりました。歴史資料の収集、調査、分析も、それに基づく啓発活動も、この問題を永く国民の記憶にとどめ、同じ過ちを決して繰り返さないという決意に基づくものです。これらの事業はアジア女性基金の重要な活動であり、今後とも取り組んでまいりたいと考えております。

引き続き、国民のみなさまからの暖かいご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

2002年10月

財団法人 女性のためのアジア平和国民基金
理事長 村山富市

An Expression of Gratitude to All Donors

Tomiiichi Murayama, The President of the AWF's message to all who kindly donated to the Asian Women's Fund atonement projects

Seven years have passed since the establishment of the Asian Women's Fund, and the Fund's atonement projects were recently completed in the Philippines, the Republic of Korea and Taiwan. Here, I would like to express our deep gratitude to all who donated atonement money for those forced to become comfort women.

The term "comfort women" refers to those who were forced to provide sexual services to officers and men at comfort stations established with the involvement of the former Japanese military during the last World War. Many women at those comfort stations had their honor and dignity gravely trampled upon, and suffered incurable physical and psychological trauma.

On August 4, 1993, the Chief Cabinet Secretary expressed the Japanese Government's sincere feelings of apology and remorse. After his Statement, the government and people of Japan searched for ways to offer atonement.

Painfully aware of its moral responsibility, the government decided to establish the Asian Women's Fund, which would implement projects of atonement of the Japanese people, in cooperation with the government and citizens of Japan. The Fund was established on July 19, 1995.

After the government took this initiative, the Asian Women's Fund decided that the project of atonement of the Japanese people would consist of: (i) atonement money financed by donations from the Japanese people; (ii) medical and welfare support projects financed by disbursements from the Japanese government; and (iii) a letter of apology from the Prime Minister of Japan. The project was sent to each former comfort woman. Concurrently, the Asian Women's Fund then launched a campaign calling on the Japanese people to donate money.

The projects of atonement of the Japanese people began on August 13, 1996 in the Philippines, on January 1, 1997 in the Republic of Korea, and on May 2, 1997 in Taiwan. Considering their advanced age, there was an urgent need to implement the projects as soon as possible for the women and it was decided that the project duration would be 5 years. The deadline for receipt of applications was August 2001 in the Philippines, and May 2002 in the Republic of Korea and Taiwan. The projects of atonement were recently concluded in those countries and region.

Project of atonement benefits were provided to 285 recipients in those countries and region. Many recipients sent us comments, such as, "I never thought I would receive apologies from the Prime Minister and money. I know they represent the feelings of good will of the Japanese people."

Since the establishment of the Asian Women's Fund, the total amount of money donated by Japanese citizens has reached more than 565 million yen. All of this money was provided to former comfort women of the Philippines, the Republic of Korea and Taiwan.

We are deeply grateful to all Japanese donors. I am pleased to note that cooperation among the citizens and government of Japan made it possible for the projects of atonement of the Japanese people to be implemented in the above-mentioned countries and region, and for the Asian Women's Fund to undertake the projects.

Some criticized the Asian Women's Fund atonement projects saying that the Japanese government should acknowledge legal responsibility and pay compensation to individuals from the State treasury. The Asian Women's Fund tried, in all sincerity, to enter into a dialogue with them in order to obtain their understanding.

In the Netherlands, the medical and welfare support programs financed by Japanese government disbursements were implemented from 1998 to 2001 through the Project Implementation Committee in the Netherlands. The project goods and services were provided to 79 former comfort women of that country. Each person was also given, together with the goods and services, a copy of the letter of apology sent by Prime Minister Ryutaro Hashimoto of Japan to Prime Minister Willem Kok of the Netherlands.

Under a Memorandum of Understanding with the government of Indonesia, it was decided that the Asian Women's Fund would support social welfare projects implemented by that government for elderly people in Indonesia. The projects are planned to last 10 years, starting in March 1997, and are now being implemented.

In addition to the projects of atonement, the Asian Women's Fund has also promoted projects aimed at resolving problems faced by women today. The projects spring from a strong sense of remorse for the Japan's past that created that detestable system, the comfort women system.

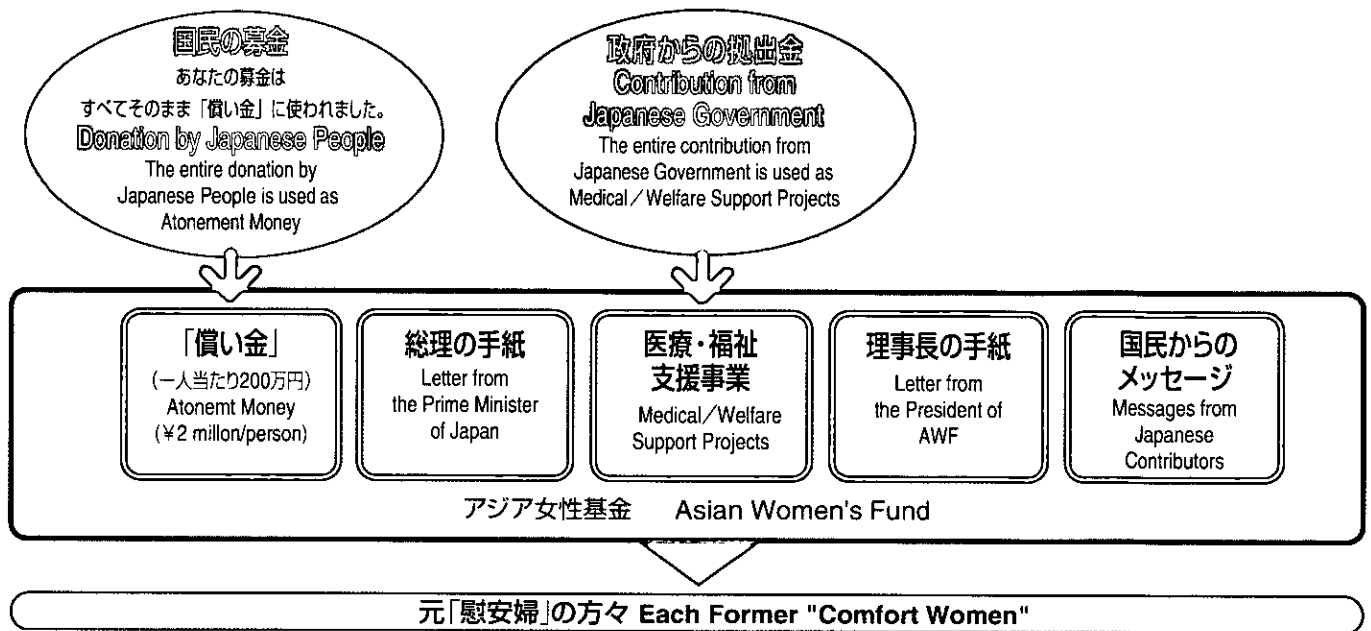
The Fund has also promoted a greater awareness of the comfort women issue, so that it will serve as a lesson of history. The Fund's collection, survey and analysis of relevant historical documents, and the public awareness campaigns based on the knowledge gained through those efforts, have crystallized in a determination that the Japanese people must never forget the issue or repeat the same mistakes.

We believe in the importance of the Fund's projects described above, and intend to continue our efforts in the future.

We sincerely hope that we can continue to count on the sympathetic understanding and support of all Japanese citizens.

元「慰安婦」の方々への国民的な「償い事業」

The People's Atonement Project to the Former "Comfort Women" in Japan



「償い金」 Atonement Money

元「慰安婦」の方々への「償い金」として、国民の募金から、アジア女性基金は、フィリピン、韓国、台湾の方々に対し、お一人200万円をお届けしました。

The AWF provided atonement money to those former "Comfort Women" in the Philippines, Korea and Taiwan, amounting two million yen for each person from Japanese People's donation.

「償い事業」の実施期間は5年間で、2002年9月に終了いたしました。
Duration of "Atonement Projects" (5years)

フィリピン (1996年8月13日～2001年8月12日)

韓国 (1997年1月11日～2002年5月1日)

台湾 (1997年5月2日～2002年5月1日)

The Philippines (Aug. 13, 1996 – Aug. 12, 2001)

Korea (Jan. 11, 1997 – May. 1, 2002)

Taiwan (May 2, 1997 – May 1, 2002)

医療・福祉支援事業 Medical and Welfare Assistance Projects

日本政府の資金によって、アジア女性基金は、フィリピン、韓国、台湾の元「慰安婦」の方々には本人の実情と要望を考慮しつつ、例えば車椅子等の介護用品・介護サービス、医薬品・医療品補助、住宅改善等医療・福祉の支援を提供し、フィリピン、韓国、台湾における医療・福祉支援事業は2002年9月に終了しました。

オランダでは、オランダ事業実施委員会が行う「医療・福祉分野の財・サービスの提供」を支援し、同国での事業は、2001年7月終了しました。

また、インドネシアでは、同政府が実施する「高齢者社会福祉推進事業」を支援しています。

Financed by the Japanese Government, the AWF provided the former "Comfort Women" in the Philippines, Korea, and Taiwan, with medical and welfare support, including the provision of nursing care products, like wheelchairs, as well as nursing services, pharmaceutical goods and medicines, housing improvement, etc. taking into account of individual circumstances of each former "Comfort Women".

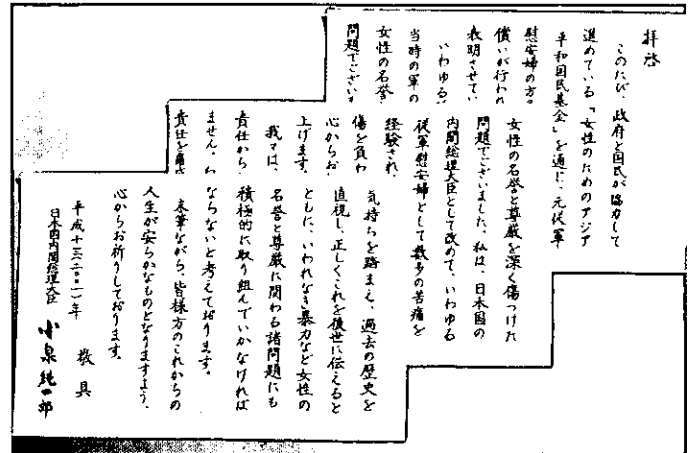
In the Netherlands, the AWF supported the "Project to provide goods and services in the medical and welfare field conducted by the Project Implementation Committee in the Netherlands". The project in the Netherlands completed in July 2001.

In Indonesia, the AWF supports social welfare project for aged people conducted by their Government. which is expected to complete in 2007

総理の手紙 Letter from the Prime Minister of Japan

日本政府は、いわゆる従軍慰安婦問題が女性の名譽と尊厳を深く傷つけた問題であるとの認識のもとに、アジア女性基金が「償い金」をお渡しする際には、深いお詫びと反省の気持ちを表す総理の手紙を一人ひとりの方にお届けしました。

The Government of Japan, recognizing that the suffering inflicted upon the former "Comfort Women" was a grave affront to the honor and dignity of women, has publicly expressed its sincere apologies and remorse. Together with the atonement money, a letter from the Prime Minister expressing these sentiments was extended to each victim.



総理の手紙 Letter from the Prime Minister of Japan

アジア女性基金理事長の手紙 Letter from the President of the Asian Women's Fund

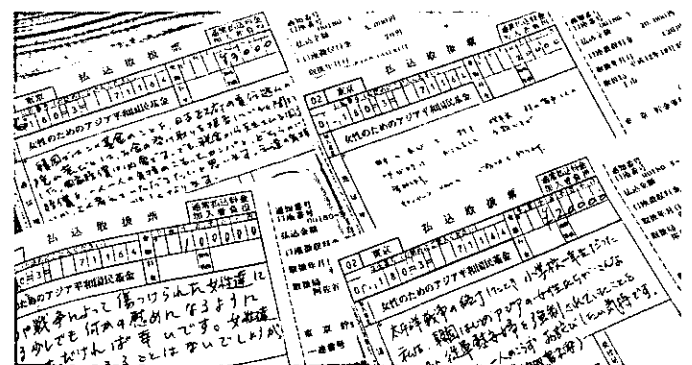
「償い金」をお渡しするに際しては、償い事業の趣旨を明らかにしたアジア女性基金理事長の手紙をお届けしました。

A letter from the President of the AWF was sent to each of the former "Comfort Women" explaining the purposes of the AWF's activities for atonement, when the atonement money was delivered.

拠金者のメッセージ Messages from Japanese Contributors

アジア女性基金に個人・市民グループから募金とともにメッセージがたくさん寄せられています。募金に協力した一人ひとりの気持ちを表しているこのメッセージを、翻訳してお渡ししました。

The AWF received many messages from individuals and citizen's groups together with donations. The AWF translated these supportive messages that expressed the feeling of from each contributor and delivered them to the former "Comfort Women"



募金とともに寄せられる拠金者からのメッセージ
Messages received from contributors in addition to donations

「償い金」に係る募金活動についてのお知らせ Report on the campaign for donations for the atonement money fund

元「慰安婦」とされた方々への「償い金」の原資としておりました募金の活動を終了させていただきます。ご協力に感謝申し上げます。

We announce the conclusion of the campaign for donations to finance atonement money for those forced to become comfort woman. We thank all donors.

募金の収支状況 2002.9.30現在

募金収入総額	565,005,636円 (預金利息を含む)
(支出内訳)	
「償い金」	570,000,000円
為替差損等	80,416円
募金支出総額	570,080,416円
募金不足額	△5,074,780円

(注) 募金の不足は、基本財産の一部をあてました。

Statement of receipts and payments, as of 30 september 2002

Total donations received (includes interest on deposits)	565,005,636 yen
Breakdown of receipts and payments	
Atonement money	570,000,000 yen
Loss on foreign exchange	80,416 yen
Total disbursed from donation fund	570,080,416 yen
Donation fund shortfall	5,074,780 yen(-)

Note: The donation fund shortfall way by disposing of the AWF Endowment fund

女性の名誉と尊厳に関わる事業

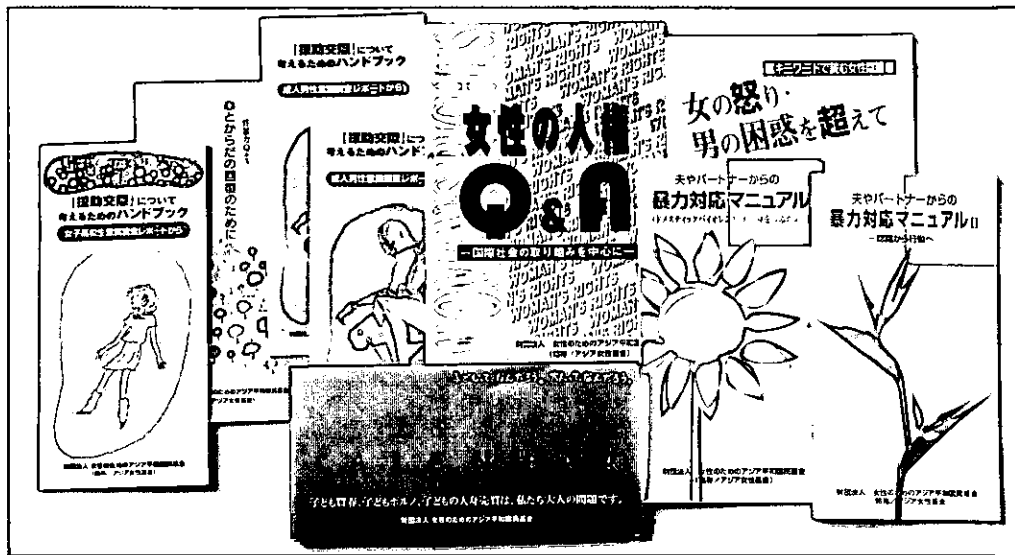
Project Related to Women's Honor and Dignity

人権の重要性に関する啓発事業

Enlightenment Project Regarding the Importance of Human Rights

「基金ニュース」、ビデオ制作、セミナーやポスター、冊子などの発行やインターネットを通して、女性の人権を護ることの大切さへの認識が社会全体に伝わるよう、啓発活動を行います。

Through seminars and publication of 'AWF News,' posters, and booklets, the AWF carries out enlightenment activities to secure recognition of the importance of protecting women's rights throughout society.



各種パンフレット・リーフレット
Various pamphlets & leaflets

制作法人 女性のためのアジア平和協会



妻や恋人への暴力は、犯罪です。

あなたも今日から、できることがあります。

03-3971-8553
03-3971-3741



パパ、どうしてママをぶつくの...

子どもはいつか、暴力をぶつこうとしたら

AWF NEWS

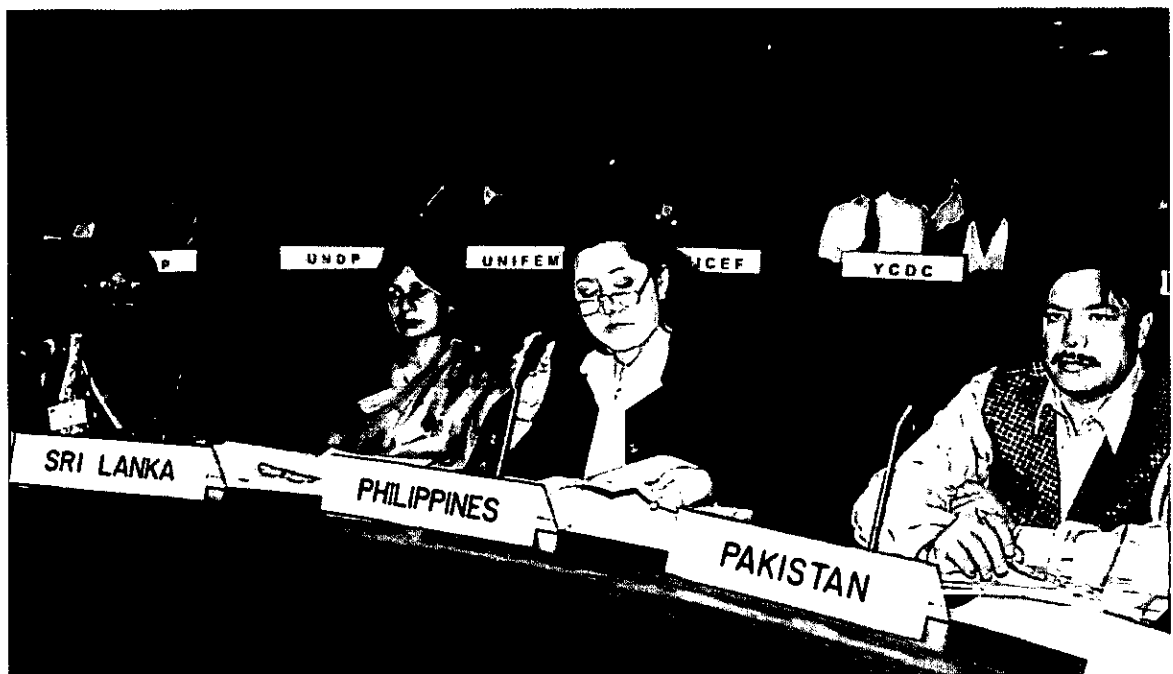
ポスター
Posters

女性に対する暴力を防止する事業

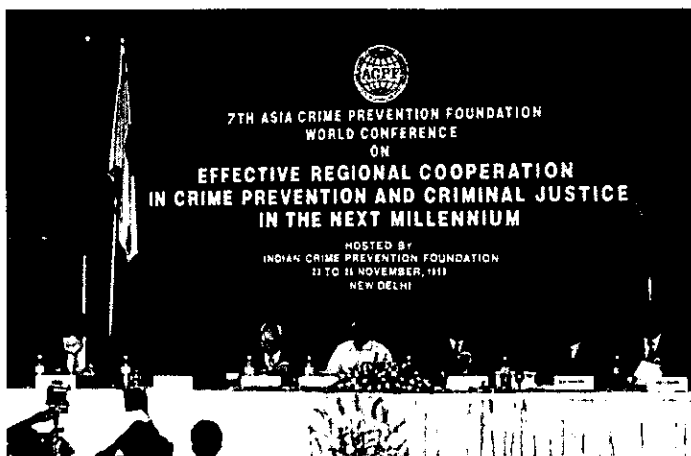
Projects to Prevent Activities such as violence against women

国際会議やフォーラムの実施を通じて、国内外における女性に対する暴力や人権侵害の未然防止活動などを続ける人々との情報交換と意識の共有を促進します。

The AWF promotes information sharing and exchange of opinions and views, and raising consciousness with people who involve preventive activities of violence against women and/or human rights violations in Japan and overseas, in hosting international conferences and forums.



「女性の国際的人身売買」に関する国際会議（1998年11月3日、バンコク、タイ）
Regional Conference on “Trafficking in Women” (Nov. 3, 1998, Bangkok, Thailand)



第7回犯罪及び刑事司法に関する世界会議を共催
(2000年11月、ニューデリー、インド)

The 7th International Conference on Crime Prevention and Criminal Justice was held jointly with ACPF, (Nov. 2000, in New Delhi, India)



第3回「女性と司法」に関する専門家会議
(2003年1月12～14日、ペナン、マレーシア)

3rd Expert meeting on “Women & Justice”
(January 12～14, 2003, Penang, Malaysia)

女性の名誉と尊厳に関わる事業

Project Related to Women's Honor and Dignity

今日的な女性問題に取り組む団体への支援事業

Support Project for Womens NGO groups involving womens problems.

女性の人権に関する今日的な問題に取り組む民間非営利団体（NGOやNPO）の活動を支援します。

The AWF supports activities of private nonprofit organizations (NGOs and NPOs) that tackle with today's problems regarding women's human rights.

講演会・研修会などの開催に関する事業

Project to train Counsellors to support Victims

国内外で活躍している専門家を講師に女性に対する暴力などの被害者救済のための講演会や研修会を行います。

The AWF holds training seminars and workshops to train counsellors to support victims of violence against women.



援助者のためのワークショップの開催（東京）
Workshops being held (Tokyo)



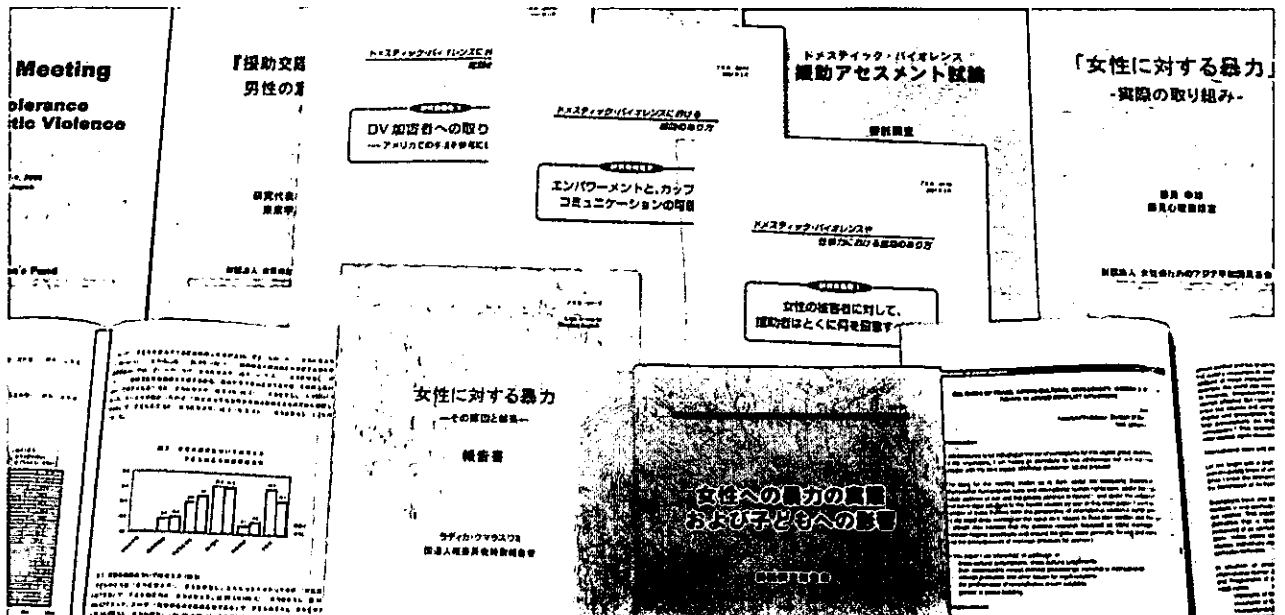
ドメスティック・バイオレンスセミナー
Seminar on Domestic Violence

女性の人権などに関する調査研究事業

Research and Study Project on Women's Human Rights, violence etc.

女性の人権を尊重する社会づくりの方法などに関する調査や研究の実施および支援を行い、情報提供を行います。

The AWF conducts and supports research and study on ways to create a society that respects women's human rights. The AWF also provides information on its activities.



調査・研究報告書類
Research and study reports

沿革

- 1991年 12月 政府が朝鮮半島出身のいわゆる従軍慰安婦問題について調査を開始
- 1992年 7月 6日 政府が「朝鮮半島出身のいわゆる従軍慰安婦問題について」（第1次調査）の結果を発表
- 1993年 8月 4日 政府が「いわゆる従軍慰安婦問題について」（第2次調査）の結果を発表
河野洋平内閣官房長官が「慰安婦関係調査結果発表に関する内閣官房長官談話」を発表。
「いわゆる従軍慰安婦として数多の苦痛を経験され、心身にわたり癒しがたい傷を負われた
すべての方々に対し、心からお詫びと反省の気持ちを申し上げる」と表明
- 1994年 8月 31日 村山富市内閣総理大臣が「内閣総理大臣の談話」で、いわゆる従軍慰安婦問題についてあら
ためて「心からの深い反省とお詫びの気持ち」を述べて、幅広い国民参加の道を追求する考
えを表明
- 1995年 6月 9日 「歴史を教訓に平和への決意を新たにする決議」衆議院本会議で決議
- 6月 14日 五十嵐広三内閣官房長官が、「女性のためのアジア平和友好基金」（仮称）の事業内容、政府
の取り組み及び基金の呼びかけ人を発表
- 7月 18日 呼びかけ人の「呼びかけ文」、村山富市内閣総理大臣「ごあいさつ」発表
- 7月 19日 女性のためのアジア平和国民基金（アジア女性基金）発足、東京都港区内に事務所開設
- 8月 11日 政府、アジア女性基金の事業に協力する旨、閣議了解
- 12月 8日 総理府および外務省共管の財団法人として設立許可される
- 2001年 1月 6日 中央省庁等再編に伴い、所管省庁は外務省になる



村山富市理事長（元内閣総理大臣）
President Tomiichi Murayama (Former Prime Minister)

History

- 1991 Dec. The Government started the fact-finding study on the issue of the so-called "Wartime Comfort Women."
- 1992 Jul. 6 The Government publicly announced the results of its first study, The issue of the so-called "Wartime Comfort Women."
- 1993 Aug. 4 Japanese government releases its second report on the results of its investigation. (Report entitled *On the Issue of Wartime "Comfort Women"*.) Chief Cabinet Secretary Yohei Kono issues a statement on the results of this investigation, saying, "The Government of Japan extends its sincere apologies and feelings of remorse to all those who suffered much pain and incurable physical and psychological damage as so-called wartime comfort women."
- 1994 Aug. 31 Prime Minister Tomiichi Murayama issues a statement expressing once more his "profound and sincere remorse and apologies" with regard to the wartime comfort women issue, and states his desire to find an appropriate way to enable the wide participation of Japanese people in the expression of such feelings of remorse and apology.
- 1995 Jun. 9 Plenary session of the House of Representatives passes a resolution entitled, "Renewing Japan's Determination for Peace, Taking to Heart the Lessons of History"
- Jun. 14 Chief Cabinet Secretary Kozo Igarashi gives information on projects of the proposed Asian Women's Fund (provisional name at this time), outlines the government's role, and names Fund proponents.
- Jul. 18 The AWF's Proponents issue "An Appeal for Donations for the Asian Women's Fund." Remarks by Prime Minister Tomiichi Murayama are released. Both appear in newspapers throughout Japan.
- Jul. 19 The Asian Women's Fund is established, and its offices open in Minato-ku, Tokyo.
- Aug. 11 The Cabinet consents to the Government cooperating with Asian Women's Fund projects.
- Dec. 8 The Asian Women's Fund is given authorization to act as a non-profit foundation, under the joint jurisdiction of the Prime Minister's Office and the Ministry of Foreign Affairs.
- 2001 Jan. 6 The Asian Women's Fund is placed under the jurisdiction of the Ministry of Foreign Affairs, as part of a restructuring of government ministries and agencies.



理事会 Board of Directors

役員等

■理事(14名)

理事長	村山 富市	元内閣総理大臣
副理事長	石原 信雄	地方自治研究機構理事長、元内閣官房副長官
	大鷹 淑子	元参議院議員
専務理事事務局長	伊勢 桃代	元国連研修人事政策部長
理事	有馬真喜子	ジャーナリスト、前国連婦人の地位委員会日本代表
	衛藤 瀋吉	東京大学名誉教授
	大沼 保昭	東京大学教授
	金平 輝子	元東京都副知事
	草野 忠義	日本労働組合総連合会事務局長
	下村 満子	ジャーナリスト
	岡部 謙治	全日本自治団体労働組合副中央執行委員長
	宮崎 勇	元経済企画庁長官
	山口 達男	元駐シンガポール大使、スペイン大使
	和田 春樹	東京大学名誉教授

■監事(1名)

橋本 豊 学校法人誠美学園常任理事

■評議員(6名)

赤松 良子 元文部大臣
石原 一子 フォーブス日本版・諮問委員
枝村 純郎 元駐ロシア大使
林 誠子 日本労働組合連合会副事務局長
若菜 允子 弁護士
紀 嘉一郎 元総務庁官房審議官

■運営審議会委員(8名)

委員長	横田 洋三	中央大学教授、国連大学学長特別顧問、国連人権促進保護小委員会委員
委員	高崎 宗司	津田塾大学教授
	山口 茂記	全日本自治団体労働組合政治政策局長
	野中 邦子	弁護士、全国人権擁護委員連合会女性問題委員長
	橋本ヒロ子	十文字学園女子大学教授
	林 陽子	弁護士
	山口 達男	元駐シンガポール大使、スペイン大使
	和田 春樹	東京大学名誉教授

(2003年現在)

Officers

■ Directors (14)

President	Tomiichi Murayama Former Prime Minister
Vice-President	Nobuo Ishihara President, Research Institute for Local Government, Former Deputy Chief Cabinet Secretary Yoshiko Otaka Former Member of the House of Councilors
Executive Director	Momoyo Ise Former Director, Specialist Service Division, Office of Human Resources Management, U. N.
Director	Makiko Arima Journalist, Former Japanese Representative to the U. N. Commission on the Status of Women Shinkichi Eto Professor Emeritus, University of Tokyo Yasuaki Onuma Professor, University of Tokyo Teruko Kanehira Former Vice-Governor of the Tokyo Metropolitan Government Tadayoshi Kusano Chairperson, Japan Trade Union Confederation (RENGO) Mitsuko Shimomura Journalist Kenji Okabe Vice-President of Executive Committee, All Japan Prefectural and Municipal Workers' Union Isamu Miyazaki Former Minister of State, Economic Planning Agency Tatsuo Yamaguchi Former Ambassador to Singapore and then to Spain Haruki Wada Professor Emeritus, University of Tokyo

■ Auditor (1)

Yutaka Hashimoto
Permanent Director, Seibi Gakuen School

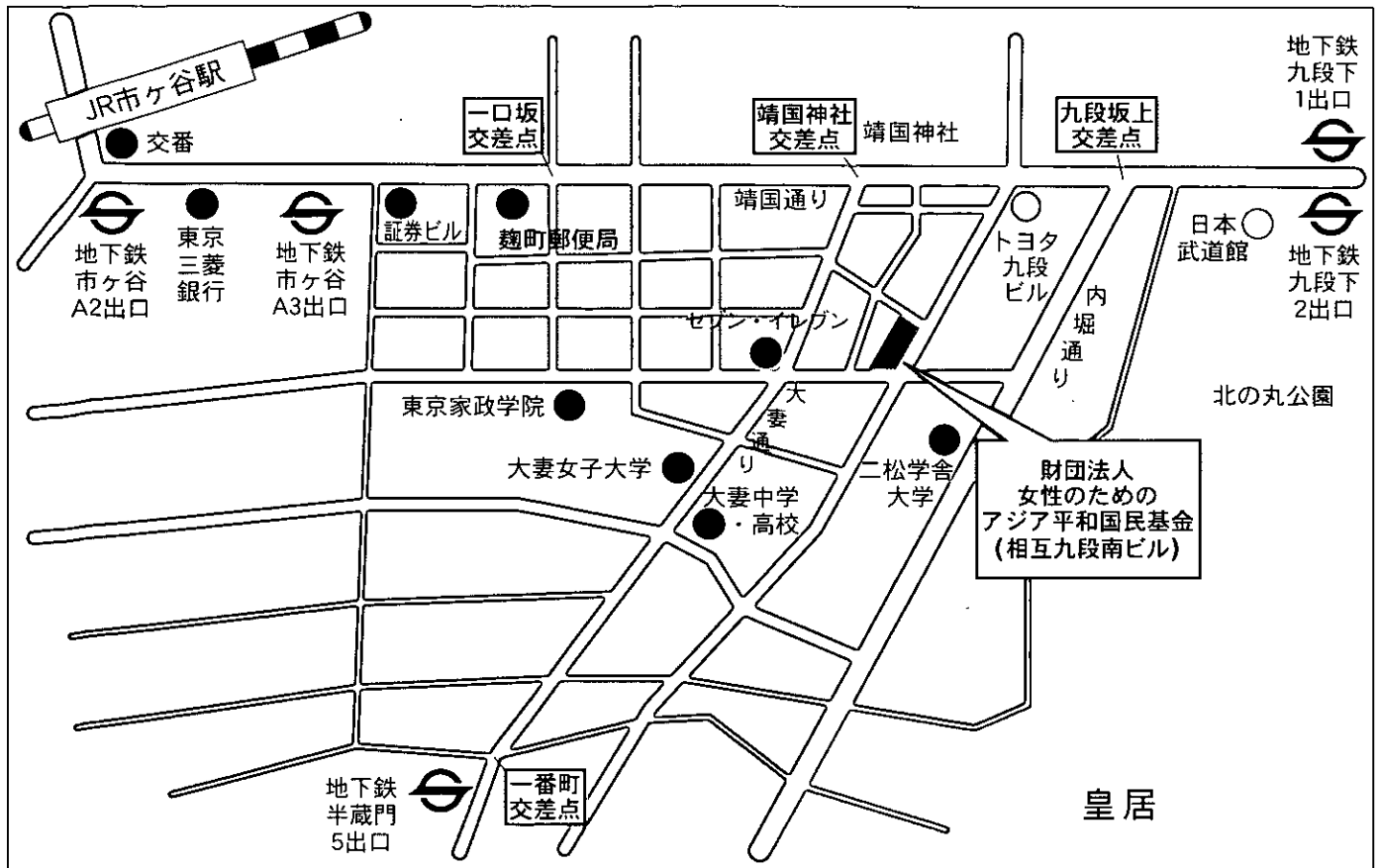
■ Councillor (6)

Ryoko Akamatsu
Former Minister of Education
Ichiko Ishihara
Member of Advisory Committee, Forbes Japan
Sumio Edamura
Former Ambassador to Russia
Seiko Hayashi
Vice-Chairperson, Japan Trade Union Confederation (RENGO)
Mitsuko Wakana
Attorney-at-Law
Kaichiro Kino
Former Secretariat Councillor, Management & Coordination Agency

■ Advisory Committee (8)

Chairperson	Yozo Yokota Professor, Chuo University; Senior Advisor to the Rector of U. N. University; Member of Sub-commission of U.N. Human Rights Commission
Members	Soji Takasaki Professor, Tsuda College Shigeki Yamaguchi Director of Political Department, All Japan Prefectural and Municipal Workers' Union Kuniko Nonaka Attorney-at-Law, Chairperson of the Committee on Women's Issues, National Federation of Consultative Assemblies of Civil Liberties Commissioners Hiroko Hashimoto Professor, Jumonji Gakuen Women's University Yoko Hayashi Attorney-at-Law Tatsuo Yamaguchi Former Ambassador to Singapore and then to Spain Haruki Wada Professor Emeritus, University of Tokyo

MEMO



電車の場合

■九段下駅より

地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線ともに2番出口から徒歩8分

■半蔵門駅より

地下鉄半蔵門線、5番出口から徒歩10分

■市ヶ谷駅より

地下鉄有楽町線・南北線・都営新宿線ともにA2番出口から徒歩11分
(A3番出口からは徒歩9分)

JR総武線、中央改札口より徒歩12分

Access

- 1) 8-minute walk from Exit No.2, Kudanshita Station, Tozai Line, Hanzomon Line, Toei-Shinjuku Line
- 2) 10-minute walk from Exit No.5, Hanzomon Station, Hanzomon Line
- 3) 9-minute walk from Exit No.A3, Ichigaya Station, Yurakucho Line, Nanboku Line, Toei-Shinjuku Line, and 12-minutes walk from JR Ichigaya Station

財団法人 女性のためのアジア平和国民基金

〒102-0074

東京都千代田区九段南2-7-6

相互九段南ビル4階

TEL03-3514-4071 FAX03-3514-4072

URL <http://www.awf.or.jp>

Asian Women's Fund

4th Floor, Sougo Kudan minami building 2-7-6

Kudan minami Chiyoda-ku, Tokyo 102-0074, JAPAN

Phone: 81-3-3514-4071 Fax: 81-3-3514-4072

URL <http://www.awf.or.jp>
